

【Excel基礎・応用知識】

Excel 推奨関数

2022年12月
株式会社セルネッツ

Section1

[推奨関数]

- ◆ 四則演算
- ◆ 端数処理
- ◆ 個数の取得
- ◆ 値の検索
- ◆ 日付の取得
- ◆ 文字列操作
- ◆ 条件分岐

Excelには468の関数が用意されています。(※)
中には四則演算など算術計算の基本的なものから
双曲線関数など一部の業種でのみ利用する関数
まで様々用意されています。

全機能を把握している人は多くありません。

そのため利便性が高くても認知度が低い関数は
保守性が低くなります。

本章では一般的に広く利用されている関数
および特性を元に推奨する関数を紹介します。

(※) 参考：できるネット (<https://dekiru.net/article/4429/>)

数値の集計／余り

No.	関数	概要
1	SUM	数値を合計する
2	SUMIFS	複数の条件を指定して数値を合計する
3	MOD	余りを求める

POINT!!



条件が1つの場合でも「SUMIFS」を使えば、後から条件が追加された場合でも、**元の条件の影響を受けずに新たな条件を追加**することができます。

SUMIF : 範囲、検索条件、[合計範囲]

SUMIFS : 合計対象範囲、条件範囲1、条件1、...



四捨五入／切り上げ／切り下げ

No.	関数	概要
1	ROUND	指定した桁数で四捨五入する
2	ROUNDUP	指定した桁数で切り上げる
3	ROUNDDOWN	指定した桁数で切り下げる

POINT!!



「桁数」に「正の値」を指定すると小数点以下の桁で端数処理され、逆に「負の値」を指定すると、整数の桁で端数処理されます。

-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4
1	2	3	4	5	.	6	7	8	9

ROUNDの場合「2」を指定すると「12,345.68」、「-2」を指定すると「12,300」になります。



個数の取得

データの個数

No.	関数	概要
1	COUNT	数値が含まれるデータの個数を求める
2	COUNTIFS	複数の条件に一致するデータの個数を求める

	A	B	C	D
1	値			
2	12		COUNT	3
3	83		CONTA	4
4			CONTBLANK	1
5				
6	34			

POINT!!

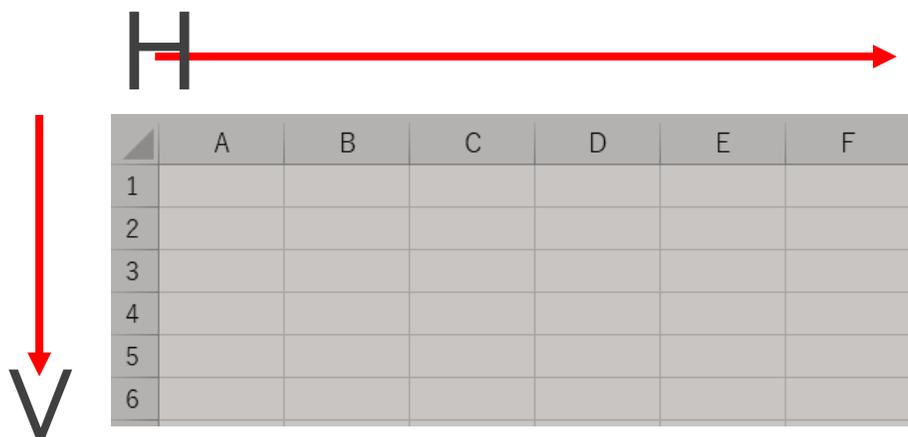
「データの個数」を調べる関数として以下もあります。

- COUNTA : 空白ではないセル数
- COUNTBLANK : 空白のセル数

左の図の「COUNTA」「COUNTBLANK」は「A2～A6」を参照しているのに、数が正しくありません。これは「A4」にスペースが入っているため「空白ではない」と判定されているためです。**利用する際は「スペース」の注意**が必要です。

範囲における検索

No.	関数	概要
1	VLOOKUP	範囲を縦方向に検索する
2	HLOOKUP	範囲を横方向に検索する



POINT!!



左の図のように「V」と「H」の線の方向を覚えると

「縦方向」検索なのか、「横方向」検索なのか覚えやすくなります。

日付の取得

日時の取得

No.	区分	関数	概要
1	現在日時	TODAY	現在の「日付」を求める
2		NOW	現在の「日付と日時」を求める
3	日時指定	DATE	年、月、日から「日付」を求める
4		TIME	時、分、秒から「時刻」を求める
5	年月日取得	YEAR	日付から「年」を取り出す
6		MONTH	日付から「月」を取り出す
7		DAY	日付から「日」を取り出す
8	期間計算	EDATE	数か月前または数か月後の「日付」を求める
9		EOMONTH	数か月前または数か月後の「月末日」を求める

文字列操作

文字数／検索／置換

No.	関数	概要
1	LEN	文字列の文字数を求める
2	MID	指定した位置から何文字目かの「文字」を取り出す
3	FIND	指定した文字列の位置を調べる
4	REPLACE	指定した文字数の文字列を置き換える

	A	B	C
1	値	ABCD	
2			
3	<関数>	<条件>	
4	LEN	—	4
5	MID	5文字目	
6	FIND	Eを検索	#VALUE!
7	REPLACE	5文字目をEに置換	ABCDE

POINT!!

該当する結果がない場合に「エラー」が起こる関数と、静的に結果を返す関数がある。

文字列操作の関数は「組み合わせ」で利用することも多いため、関数の特性を理解して利用しましょう。

条件分岐／論理値／真偽値／エラー処理

No.	区分	関数	概要
1	条件分岐	IF	条件によって利用する式を変える
2	論理値	AND	すべての条件が満たされているかを調べる
3		OR	いずれかの条件が満たされているかを調べる
4		NOT	条件が満たされていないことを調べる
5	真偽値	TRUE	真 (True) であることを表す
6		FALSE	偽 (False) であることを表す
7	エラー処理	ISERROR	エラーか否か調べる
8		IFERROR	エラーの場合に返す値を指定する

Section2 [非推奨関数]

- ◆ 利便性／保守性
- ◆ バージョン依存

Excelの関数には特定のバージョン以降でないと
利用できないものが含まれています。

社内で利用する際は正常に動作していたが
顧客の環境（古いバージョン）では動作しない
ということが発生する場合があります。

本章では「バージョンに依存する関数」、および
セルネットの過去の実績に基づいた「非推奨」として
いる関数を紹介します。

利便性／保守性が低い関数

Excel担当者が使いがちな関数

No.	関数	概要
1	SUBTOTAL	さまざまな集計値を求める
2	INDIRECT	参照文字列をもとにセルを間接参照する
3	INDEX	行と列で指定した位置の値を求める

POINT!!

「配列」や「参照」は一般的ではない。「誰でも使える関数」とは言い難いため、利用は控える。

また「SUBTOTAL」も引数に応じて集計方法が大きく異なるため後で調査する際に理解しづらくなるため、利用を控える。



バージョンに依存する関数

Office2013では利用できない関数

No.	関数	概要
1	CONCAT	文字列を連携する（セルの範囲指定可能）
2	CONCATENATE	文字列を連携する（セルの範囲指定はできない）
3	XLOOKUP	範囲を下に向かって検索し対応する値を返す

POINT!!

「CONCAT」「CONCATENATE」はどちらも「文字連結」で
「CONCAT」は2016、2019、365でしか使うことができません。
Office2013は今も延長サポートが有効であるため、
2013でも利用可能な関数を使いましょう。



Section3

[検索関数]

◆ VLOOKUP

利用頻度が高い関数の一つに「検索関数」があります。「検索関数」は検索に利用するオプションがいくつか用意されている。しかし、誤った設定より意図した結果が表示されない場合があります。

ここでは「検索関数」である「VLOOKUP」のオプションの内容を紹介します。

VLOOKUP (1/2)

検索方法の指定ミス

検索方法 には検索値と完全に一致する値だけを検索するか、その近似値を含めて検索するかを、論理値 (近似値を含めて検索 = TRUE または省略、完全一致の値を検索 = FALSE) で指定します。

POINT!!

Excelのヘルプに説明が書かれているが、文章が長くて読みにくい！
そのため、意識せずに「検索方法」が設定されてしまう。(しかも省略すると「TRUE:近似値」が使われます。)

TRUE : 近似値 (範囲の中から「**できるだけ似た値**」を探す)

FALSE : 完全一致 (範囲の中から「**一致する値**」を探す)



VLOOKUP (2/2)

「近似値」の利用シーン

大学名	ふりがな	区分	区分	区分名
青森大学	あおもりだいがく	あ行	あ	あ行
秋田大学	あきただいがく	あ行	か	か行
岩手大学	いわてだいがく	あ行	さ	さ行
宮城大学	みやぎだいがく	ま行	た	た行
山形大学	やまがただいがく	や行	な	な行
福島大学	ふくしまだいがく	は行	は	は行

「ふりがな」より
該当する「行」を判定

POINT!!

文字コードより「近似値」を判定して値を取得しています。
しかし、並び順などより正しく取得できない場合もあります。
「近似値」を正しく扱うことは難しいため、利用は控えましょう。



ここまでで紹介した関数を一覧で掲示しています。
印刷してご利用ください。

Another1 [関数一覧]

◆ 推奨関数

推奨関数一覧

No.	区分	関数
1	四則演算	SUM
2		SUMIFS
3		MOD
4	端数処理	ROUND
5		ROUNDUP
6		ROUNDDOWN
7	個数の取得	COUNT
8		COUNTIFS
9	値の検索	VLOOKUP
10		HLOOKUP
11	日付の取得	TODAY
12		NOW
13		DATE
14		TIME

No.	区分	関数
15	日付の取得	YEAR
16		MONTH
17		DAY
18		EDATE
19		EOMONTH
20	文字列操作	LEN
21		MID
22		FIND
23		REPLACE
24	条件分岐	IF
25		AND/OR/NOT
26		TRUE/FALSE
27		ISERROR
28		IFERROR

